

まちを動かす!

市民協働の千カラ

第2回

あなたの「やってみたい」が仙台を変える!

若者の自由な発想を仙台の活力創出につなげるため、本市が実施する実践型プログラム「仙台まちづくり若者ラボ」。今回は、令和7年度にプログラムに参加した松岡さんにお話を伺いました



まちを動かす「ひと」の活動や協働を進める市の取り組みを紹介します!

「仙台まちづくり若者ラボ」に参加したきっかけを教えてください



東北学院大学
地域総合学部3年
松岡孝樹さん

以前から仙台のまちを盛り上げたいという思いがあり、まちづくりの活動に興味はあったのですが、なかなか行動に移せていませんでした。そんな時に「仙台まちづくり若者ラボ」を知り、一歩踏み出せるいい機会だと思い参加しました。

どのような活動に取り組みましたか?

「防災でつながる仙台」をテーマにグループで活動しました。フィールドワークで防災・減災に関する講座に参加したのですが、参加者のほとんどが高齢者だったことから、若者の防災への関心が低いことが課題として挙がりました。防災を自分事として考えてもらうきっかけづくりとして、大学生から30代を対象とした「防災カフェ」を開催しました。



▲1回目のワークショップでは、それぞれの「やってみたい」ことのアイディアを共有しました

カジュアルな雰囲気で開催された「防災カフェ」。新聞紙を使ったスリッパや、100円ショップの防災グッズを詰めた「防災ポーチ」を作りました



フリートークでは防災に関する知識を共有。参加者からは「新たな防災グッズを知ることができた」といった声が聞かれました



まちづくりに興味がある方や若者にメッセージをお願いします

まちづくりって難しそうというイメージを持っていたのですが、まちづくりは日常の延長線上にあって、一歩踏み出すことがまちを盛り上げることに繋がると実感しました。自分のやりたいことができるチャンスなので、仙台のまちに貢献したいという思いがある方は「若者ラボ」にチャレンジしてみてください!

仙台まちづくり若者ラボ2026募集開始!

- 募集期間—5月25日(月)~6月25日(木)
- 対象や応募方法など詳しくは市ホームページなどでお知らせします



圏市民協働推進課 ☎214・8002、FAX211・5986

政宗公の魅力再発見!

独眼竜入門

戦国武将や仙台藩祖として知られる伊達政宗公ですが、実際どんな人物だったの?残された史料から、その素顔や功績に迫ります!

その一 筆まめ

戦国〜江戸時代、武将・大名は右筆(書記役)に書状を書かせるのが一般的でしたが、政宗公は右筆を使わず自筆することが多く、現存する自筆の書状はなんと1300通以上。戦況を家臣に伝えるものや娘・息子を氣遣うものもあり、政宗公の人格が垣間見えます。自分の意思は自分で伝えるという強いこだわりがあったようです。もし政宗公が現代によりみえたら、頻繁にSNSを更新しているかもしれませんね。

- MASAMUNE お茶会なう
- MASAMUNE いざ出陣!
- MASAMUNE ちょっと遅れそう



政宗公没後400年となる2036年に新たな大河ドラマを実現するため、署名活動を実施中!



詳しくはこちら